

「薬局」2022年9月号「不妊とくすりの現在(いま)」正誤表

いつも小誌『薬局』をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

2022年9月号 (Vol 73, No 10) 「不妊とくすりの現在(いま) ここが変わった! 治療法・治療薬から保険制度まで」に以下の誤りがございました。

深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■ p.77 表レトロゾールとクロミフェンの相違点

【誤】

	クロミフェン	レトロゾール
用量	50mg/日	2.5mg/日
用法	投与開始について月経周期の記載なし 5日間投与	月経周期3日目から5日間投与
増量	100mg/日まで	5.0mg/日まで
半減期	14日	2日
反復投与での持ち越し効果	あり	なし
ネガティブフィードバック機構の回復	迅速	遅延
LHサージの抑制	あり	なし
血中FSH値	上昇	上昇
血中エストラジオール値	低下	上昇
単一卵胞発育	高頻度	低頻度(多発卵胞発育になりやすい)
子宮内膜	菲薄	正常
保険適応の効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・排卵障害に基づく不妊症の排卵誘発 ・乏精子症における精子形成の誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉経後乳がん ・生殖補助医療における調節卵巣刺激 ・多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発 ・原因不明不妊における排卵誘発

【正】

	クロミフェン	レトロゾール
用量	50mg/日	2.5mg/日
用法	投与開始について月経周期の記載なし 5日間投与	月経周期3日目から5日間投与
増量	100mg/日まで	5.0mg/日まで
半減期	14日	2日
反復投与での持ち越し効果	あり	なし
ネガティブフィードバック機構の回復	迅速	遅延
LHサージの抑制	あり	なし
血中FSH値	上昇	上昇
血中エストラジオール値	上昇	低下
単一卵胞発育	低頻度（多発卵胞発育になりやすい）	高頻度
子宮内膜	菲薄	正常
保険適応の効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排卵障害に基づく不妊症の排卵誘発 ・ 生殖補助医療における調節卵巣刺激 ・ 乏精子症における精子形成の誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉経後乳がん ・ 生殖補助医療における調節卵巣刺激 ・ 多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発 ・ 原因不明不妊における排卵誘発

2023年2月現在